第1論文

英文タイトル：Introduction: Necessity, Difficulty, and Potential for Exit Strategy Research

著者名の英語表記：NAKAMURA Nagafumi

サマリー：

本稿では、特集号の序論として、以下の三点、すなわち出口戦略について研究することの必要性・困難性・可能性を示す。第一に、出口戦略研究が必要な理由として、「いつ、どのように撤退すべきか」という当為に関する重要な問い、および「なぜ、撤退を決定しきれないのか」という実態に関する重要な問いが学術的に未解決であることを指摘する。第二に、出口戦略研究を進めるに際して「撤退」や「戦闘・活動の長期化」といった重要概念の操作化が難しい点に留意すべきだとしたうえで、そうした困難さに対処する方法を具体的に検討する。そして、第三に、「いつ、どのように撤退すべきか」といった当為の分析と「なぜ、撤退を決定しきれないのか」といった実態の分析のそれぞれについて、一定の研究蓄積があることを紹介しながら、今後の発展可能性を展望する。